

『熊本の心』= 助け合い・励ましあい・志高く

『玉名の教育』= 未来・挑戦・安心・感謝

町教育大綱

理念 ～ 町づくりは人づくりから ～

基本方針

南関町を愛し、南関町に根差す人材の育成

～豊かな心と確かな学力を身につけ、心身共にたくましい児童生徒の育成を図る～

南関町で育てたい資質・能力:南関町を愛する心 ⇒ (自律する力 絆を形成する力 夢を創造する力) ⇒ 難関突破力

『 夢・絆・挑戦 』

努力事項

- (1) 学校のあり方に関する答申を踏まえた、未来への教育環境整備を進め、魅力のある学校づくりに努めます。
- (2) 児童生徒の命の尊厳を基盤に、自他の命を大切に教育に努めます。
- (3) 幼保小中連携し、子どもに育てたい資質・能力を身に付けさせ、「めざす南関町の子ども像」の実現に努めます
- (4) 「熊本の学び」の推進・ICT活用、教育支援員配置等を通して、児童生徒の確かな学力の向上に努めます。
- (5) 学校評価等を工夫し、PDCAサイクルによる学校運営・業務改善を図り、質の高い教育の提供に努めます。
- (6) グローバルな視点を育てる英語教育の充実に努めます。
- (7) 特別支援教育の視点に立ち個に応じた学習支援を行い、すべての児童生徒の学びを保障します。
- (8) 道徳教育の充実により、郷土愛を育み豊かな心と思いやりのある人間性の育成に努めます。
- (9) 幼児期から中学校までの体力の向上をめざし、健康な身体とたくましい精神力の育成に努めます。
- (10) 健全な心身の発育の基盤となる食育を、食農指導や地産地消の奨励により充実させます。
- (11) 学校運営協議会等の五者連携・協働など社会に開かれた教育課程を通して、キャリア教育の充実に努めます。

**重点事業:難関突破力を育む新しい学校教育の創造**

重点取組

<p>子どもの「深い学び」につながる質の高い教育の実現</p>	<p>義務教育9年間を見通した、小中一貫した教育活動の工夫・充実</p>
<p>『自らの学びを選択・決定・調整できる力の育成と定着確認の徹底』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学力向上研究協議会の一層の役割充実と研究指定校の研究成果の共有による授業改善(南関中・二小)</li> <li>② ICTを活用し、振り返り・定着確認まで含めた1単位時間の完結授業による確かな学力の向上</li> <li>③ 授業と家庭学習の接続による主体的学習の習慣化</li> <li>④ 日課表の見直しや単位授業時間の弾力的運用</li> </ul>	<p>『南関町の未来の学校につながる教育活動の創造』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 小小、小中連携した教育課程の工夫</li> <li>② 遠隔・合同授業による小規模校デメリットの最小化</li> <li>③ 小中学生の交流によるめざす子ども像共有化</li> <li>④ 出前授業や中学生の体験講話などによる中1ギャップの縮小</li> <li>⑤ 学校のあり方答申を基にした未来の学校づくりの町の方針決定</li> </ul>
<p>コミュニティ・スクール(CS)と地域学校協働活動の一体的促進</p> <p>『地域に根差す児童生徒の育成』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① CSを核に児童生徒主体の企画・運営の工夫によるキャリア教育の一層の充実</li> <li>② 総合的な学習の時間等での児童生徒による情報発信や地域体験活動の工夫・充実</li> <li>③ 地域づくりに係る児童生徒の積極的な提案</li> <li>④ 地域を生かした特色ある教育課程の編成</li> </ul>	<p>多様な支援を必要とする子どもへの対応と居場所づくりの拡充</p> <p>『子どもに寄り添う支援体制』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教育支援センター(陽だまりルーム+校外支援センター)による不登校児童生徒等への支援体制の充実</li> <li>② 通級指導教室(小中学校巡回方式)による特別な支援を必要とする児童生徒への指導充実</li> <li>③ 多様なニーズに対応できる教育課程の工夫</li> </ul>